

ハーモニー

Harmony

第86号 2021年10月20日発行

一般社団法人

日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

(一社) 日本養護教諭教育学会

事務局：〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター

TEL 03-6824-9398

FAX 03-5227-8631

振替口座：00880-8-86414

jayte-post@bunken.co.jp

目次

第29回学術集会〔オンライン学会〕へのお誘いと企画紹介	1
第29回学術集会プログラム	2
【ご案内】学術集会で助成金研究の報告を行います	5
投稿奨励研究の選定を今年こそ！	5
2021年度「研究助成金研究」の進捗報告	5

【活動報告】文部科学省のパブリックコメントへの意見提出	6
トピックス：『学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について（通知）』	6
投稿論文の募集	7
理事会報告要旨	7
事務局より・編集後記	8

日本養護教諭教育学会第29回学術集会〔オンライン学会〕へのお誘いと企画紹介

学会長 貴志知恵子（徳島文理大学）

会員の皆様におかれましては、子ども達の健康を守り育てる活動に日々ご尽力されていることと拝察します。現在、新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いていますが、今後も予断を許さない状況が続いております。このような中、第29回学術集会はWebによるオンライン学会とすることに致しました。

メインテーマは「子どもの主体性・探究心を育てる養護実践のあり方を問う」としました。混沌とした先の見えない状況の中で、子ども達が生涯にわたって健康・安全に生きていくためには、自ら率先して行動することや仲間と協力して課題解決していくことが強く求められます。そのために子ども達は、主体性や探究心を持つことが不可欠であると考えます。そこで、本学術集会においては、養護教諭の職務において子どもの主体性・探究心を育てる養護実践をどのように考え、どのように行うかについて議論し、その可能性を探ることで、すべての子ども達の健康レベルの向上を目指します。

学術集会初日は「子どもの主体性・探究心を育てる養護実践のあり方を問う」と題してシンポジウムを開催し、これからの養護実践のあり方を問いメインテーマに迫ります。

次に、特別講演は、歯周病予防に熱心に取り組まれている歯科医の篠原啓之氏より、歯科保健と全身の健

康との関係を熱く語っていただきます。

2日目の教育講演は、学校における子どもの適応と健康を守る予防教育開発や介入研究を全国的に行われている鳴門教育大学の山崎勝之氏にお願いします。

1. 期 日

2021年11月27日(土) 12:00～17:20

11月28日(日) 9:30～15:50(予定)

2. 開催形態

Webによるオンライン学会(徳島市)

3. 学会長

学会長 貴志知恵子(徳島文理大学人間生活学部)

副学会長 竹内 理恵(同大学同学部)

4. メインテーマ

「子どもの主体性・探究心を育てる養護実践のあり方を問う」

5. 参加費(11月15日迄の申込者に抄録集事前送付)

会員・会員外 2,500円

学生(社会人大学院生を除く) 2,000円

抄録集のみ 2,500円(送料込み)

※直前申込も受け付けますが、抄録集送付は後日です。

6. 参加申込

<https://forms.gle/UXMYMw2MGk7sW8bj9>



左のQRコードからも
申し込みができます

<連絡先>日本養護教諭教育学会第29回学術集会事務局

E-mail yogo2021@tks.bunri-u.ac.jp

(一社) 日本養護教諭教育学会 第29回学術集会プログラム

メインテーマ「子どもの主体性・探究心を育てる養護実践のあり方を問う」

会 期：2021年11月27日（土）12:00～17:20、11月28日（日）9:30～15:50

開催形態：Web によるオンライン開催

≪2021年11月27日（土）≫ A会場

◇開会行事（12:00～12:10）理事長挨拶・学会長挨拶

◇学会長講演（12:10～13:00）…………… 座長 鈴木 裕子（国士舘大学）
「子どもの主体性・探究心を育てる養護実践のあり方を問う」 学会長 貴志知恵子（徳島文理大学）

◇特別講演（13:10～14:10）…………… 座長 後藤ひとみ（愛知教育大学）
「歯周病が全身に及ぼす影響～デンタルクリニックの報告から～」
講師 篠原 啓之（エス・デンタルクリニック 歯科医師）

◇シンポジウム（14:30～17:00）

テーマ「子どもの主体性・探究心を育てる養護実践のあり方を問う」

コーディネーター 入駒 一美（東京医療保健大学）
松永 恵（茨城キリスト教大学）
シンポジスト 住吉 美保（一関市立桜町中学校）
近藤 真理（徳島市立高等学校）
古角 好美（元大和大学）

◇学会事業報告（17:00～17:20）

≪2021年11月28日（日）≫

◇一般演題発表

< A会場 >

口演発表Ⅰ（9:30～10:30）…………… 座長 塚原加寿子（新潟青陵大学）

< 現職教育 >

I-1 新任養護教諭の着任時における教員育成指標の内容分析

○河本 肇（広島修道大学）

I-2 養護教諭が解決志向アプローチの技法を自分自身に用いることの可能性

○安田 祥子（徳島県立城ノ内中等教育学校）

I-3 子どもの貧困に対する養護教諭の認識と支援の実態について

○山下 奏（徳島大学）他

口演発表Ⅱ（10:30～11:30）…………… 座長 大川 尚子（京都女子大学）

< 健康相談活動 >

II-1 小学校養護教諭の困難感からみた不登校支援の探求

○三宅 なつみ（元大阪教育大学大学院連合教職実践研究科）他

< その他 >

II-2 養護教諭の主観的健康感及び健康実態と関連要因について

○三井 瑞穂（徳島大学）他

<制度>

II-3 養護教諭複数配置の利点と課題

○井 美希（横浜高等教育専門学校）他

<A会場>

研究助成金研究発表（11：30～12：00）…………… 座長 河田 史宝（金沢大学）
高等学校における複数配置の養護教諭間に生じる課題解決の工夫

○研究代表者 丸山 範子（神奈川県立横浜緑園高等学校）

<B会場>

口演発表Ⅲ（9：30～10：10）…………… 座長 奥田紀久子（徳島大学）

<健康教育に関する養護実践>

Ⅲ-1 コロナ禍における生徒保健委員会活動のあり方に関する研究

○西尾あかり（徳島県吉野川市立山川中学校）

Ⅲ-2 よりよい生活習慣の確立を目指して－児童保健委員会活動を通して－

○柳川 里紗（徳島市川内南小学校）

口演発表Ⅳ（10：10～11：10）…………… 座長 上村 弘子（岡山大学大学院）

<健康教育に関する養護実践>

Ⅳ-1 養護教諭が担当する体育科保健領域の授業に関する一考察

○齋藤 佳奈（鳴門教育大学附属小学校）他

Ⅳ-2 中学生の健康に対する意識の変容－健康診断時の指導を通して－

○児玉 睦（徳島市不動中学校）他

Ⅳ-3 中学生の野菜摂取不足改善に関する取組

○西 ひかり（小松島市新開小学校）他

口演発表Ⅴ（11：10～12：10）…………… 座長 斎藤ふくみ（関西福祉科学大学）

<健康教育に関する養護実践>

V-1 小学生へのアンガーマネジメントに関する研究

○北浦可奈子（上勝町立上勝小学校）

V-2 養護教諭が進める集団へのアプローチ－コグトレの継続的な実施を通して－

○正木 敦子（徳島県立穴吹高等学校）他

V-3 養護教諭による心のスキルアップ授業実践

○安藝 敦子（徳島文理中学校・高等学校）

<C会場>

口演発表Ⅵ（9：30～10：10）…………… 座長 小林 央美（弘前大学）

<養成教育>

Ⅵ-1 「教職実践演習」における養護教諭と多職種連携に関する事例を用いた教育効果の研究

○西丸 月美（西南女学院大学）他

Ⅵ-2 科目「健康相談活動」を通して授業構成の在り方を探る

○宮慶美恵子（花園大学）

口演発表Ⅶ（10：10～10：50）…………… 座長 加藤 晃子（滝学園滝中学校滝高等学校）

<組織活動>

Ⅶ-1 校内現職研修において心肺蘇生法講習を効果的に実施するための研修過程の考察

○北川 瑠菜（愛知教育大学教職大学院）他

VII-2 子どものけがや病気の対応時の異なる職員間で生じる解釈のズレに関する研究

○加藤木藤子（青山学院大学）

口演発表 VIII（10：50～11：50）…………… 座長 圓岡 和子（愛知教育大学附属高等学校）

<健康教育に関する養護実践>

VIII-1 一次救命処置学習を通して緊急時「自分ごと」として行動できる生徒の育成を目指して

○林 加奈恵（美馬市立穴吹中学校）他

<保健室経営に関する養護実践>

VIII-2 保健室における個別指導充実のために

○東條久美子（鳴門市立第一中学校）他

VIII-3 課題解決型の保健室経営計画に対する養護教諭の意識と課題

○利岡 美音（小松島市南小松島小学校）

◇教育講演（13：00～14：00）…………… 座長 貴志知恵子（徳島文理大学）

「健康と適応を守る予防教育の理論と進め方」

講師 山崎 勝之（鳴門教育大学特命教授）

◇課題別分科会（14：20～15：50）

課題別分科会1 A会場 …………… 座長 西岡かおり（四国大学）

「問題＝チャンスにして自分で解決できる力を身につける保健指導」

講師 藤井 梓（徳島科学技術高等学校）

課題別分科会2 B会場 …………… 座長 竹内 理恵（徳島文理大学）

「学校で使える解決志向アプローチ」

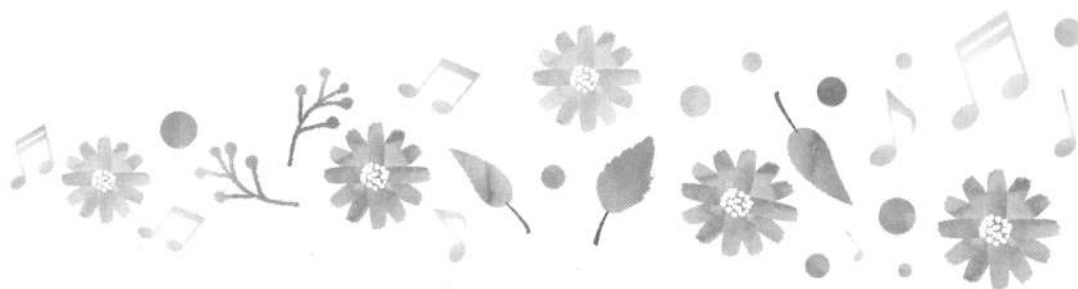
講師 猪井 淑子（徳島文理中学・高等学校SC）

課題別分科会3 C会場 …………… 座長 橘 晴子（阿南市立長生小学校）

「外在化療法を活用した絵本の作成とその活用」

講師 中津 達雄（徳島文理大学大学院教授）

木下 梓（阿南市立伊島小学校）



【ご案内】 学術集会で助成金研究の報告を行います

学術担当常任理事 鈴木裕子（国士館大学）

本学会では、養護教諭教育（養護教諭の資質や力量形成及び向上に寄与する活動）に関する特色ある研究に対して1件10万円の助成を行っています。毎年9月に申請を締め切り、選定に関する内規（2013年度総会承認）に則って助成する研究を決定します。今年度は、「危機管理として養護教諭が行う特別な配慮を必要とする児童生徒への支援—新型コロナウイルス感染症への対応の振り返りをもとに—」（研究代表者：愛知県一宮市立南部中学校 坂井三代子会員）に助成を行っているところです。

この度の第29回学術集会では、2020年度の助成金研究「高等学校における複数配置の養護教諭間に生じる課題解決の工夫—情報の共有と判断の一致に向けて」（研究代表者：神奈川県立横浜緑園高等学校 丸山範子会員）の発表を学術集会2日目の午前中に行います。他の一般演題発表と一部時間帯が重なってしまいますが、可能な方は是非ご参加いただけますようご案内申し上げます。

○日時：2021年11月28日（日）11:30～12:00

○会場：A会場

次年度以降も意欲的な研究に助成を継続してまいりますので、引き続きご応募をお待ちしております。

投稿奨励研究の選定を今年こそ！

学術担当常任理事 鈴木裕子（国士館大学）

「投稿奨励研究」とは、学術集会で発表された一般演題のうち2題を上限に投稿時の査読費用8000円を免除し、学会誌への投稿を奨励するものです。学術集会終了後、座長等の推薦を受け理事会にて選定して研究代表者にお知らせしています。この事業は、特に現職養護教諭による学会誌への投稿の活性化を目的としており、これまで養護教諭による複数の優れた研究が学会誌に掲載されてまいりました。

ここ数年、自然災害や感染症拡大の影響により従来のような学術集会が開催できず、投稿奨励研究の選定も困難な状況が続いています。今回もオンライン開催であるため、口演の視聴や質疑応答、ディスカッションには制約がありますが、参加者の皆様とともに充実した時間をもつことがで

2021年度「研究助成金研究」の進捗報告

会員 坂井三代子（愛知県一宮市立南部中学校）

私たちは、「危機管理として養護教諭が行う特別な配慮を必要とする児童生徒への支援—新型コロナウイルス感染症への対応の振り返りをもとに—」と題する研究に愛知県内の会員5人（研究代表者：坂井三代子、加藤晃子、黄木寺由貴、後藤ひとみ、畠中恵実）で取り組んでいます。

本研究の目的は、今般の新型コロナウイルス感染症の蔓延の中で、特別な配慮を必要とする児童生徒（例えば、発達障がい、外国人児童生徒、不登校、貧困家庭など）に対して、養護教諭がどのような対応を行ってきたかを調べ、今後の諸事象における危機管理に活用すべき支援方法を探ることにあります。

これまでの研究で、災害時（様々な自然災害、事故・火事・感染症などによる災いと被害）に特別な配慮を必要とする児童生徒への養護教諭の対応に特化した報告はほとんどありません。よって、本研究はパイロット的な成果を得るために、半構造化面接による質的研究を行う準備を進めています。インタビュー対象者は愛知県内の公立・私立の小学校、中学校、高等学校の養護教諭14人の予定です。令和3年11月～令和4年3月にかけて直接面談及びZoom面談を行い、その内容を分析していきます。

今回の研究助成によって、改めて研究の進め方を学んでいます。好機をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

できれば幸いです。そして今年こそ投稿奨励を行いたいと考えております。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

なお、過去に投稿奨励研究に選定され、まだ投稿されていない研究もございます。投稿についてのご相談に応じますので、学術委員会または編集委員会にご遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ先>

鈴木裕子（学術担当常任理事）

E-mail suzukiyu@kokushikan.ac.jp



活動報告

文部科学省の「パブリックコメント」への意見提出

理事長 後藤ひとみ（愛知教育大学）

本年6月18日に総合教育政策局教育人材政策課から7月17日必着で「教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令案」への意見募集があり、ICT活用指導力を総論的に修得できる科目の新設は養護教諭免許取得のための教職科目においても適用して欲しい等を要望しました。8月4日に結果が公表され、新設される科目は養護教諭及び栄養教諭への導入は想定していないが、「今後、中央教育審議会等のご議論を踏まえつつ、養護教諭及び栄養教諭のICT活用指導力の充実について検討してまいりたいと考えております。」等の回答があり、同日に修正なしで公布されました。

さらに、7月16日に初等中等教育局特別支援教育課から8月15日必着で「学校教育法施行規則の一部を改正する省令案」への意見募集があり、医療的ケア看護職員の職名変更や職務内容の明示等を要望しました。8月23日に結果が公表され、「医療的ケア看護職員の職務内容や留意事項等については、保護者や教職員の方に誤解が生じないように、今後発出する予定の施行通知に記載させていただきます。」等の回答があり、同日に修正なしで公布されました。

上記パブリックコメントで提出しました本学会の意見はHPに掲載していますが、学会誌にも掲載予定です。

トピックス

『学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について(通知)』

ハーモニー担当理事 平井美幸（大阪教育大学）

文部科学省は、『学校教育法施行規則の一部を改正する省令(令和3年文部科学省令第37号)』を令和3年8月23日に公布し、同日施行しました。

今回の改正の趣旨は、「学校や教員が直面する課題が多様化・複雑化し、学校における働き方改革の推進、GIGAスクール構想の着実な実施、医療的ケアをはじめとする特別な支援を必要とする児童生徒への対応等が喫緊の課題となっていることを踏まえ、こうした課題に対応する学校の指導・運営体制の強化・充実を図るため、学校において教員と連携協働しながら不可欠な役割を果たす支援スタッフとして、医療的ケア看護職員、情報通信技術支援員、特別支援教育支援員及び教員業務支援員について、新たにその名称及び職務内容を規定する」ことです。

改正の概要には、医療的ケア看護職員について「小学校

において、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為をいう。以下同じ。)を受けることが不可欠である児童(以下「医療的ケア児」という。)の療養上の世話又は診療の補助に従事する」と説明されています。

留意事項には、医療的ケア看護職員の職務内容について、次のように記されています。

1. 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律(令和3年法律第81号)において、学校に在籍する医療的ケア児が保護者の付添いがなくても適切な支援を受けられるようにするため、学校の設置者に対して、看護師等の配置等の措置を講ずることが求められているなど、学校現場への配置の必要性が高まっている医療的ケア看護職員について、医療的ケア児の療養上の世話又は診療の補助に従事する職員として、施行規則第65条の2に規定するものであり、その具体的な職務内容は、主に次のものが考えられること。

- ・ 医療的ケア児のアセスメント
 - ・ 医師の指示の下、必要に応じた医療的ケアの実施
 - ・ 医療的ケア児の健康管理
 - ・ 認定特定行為業務従事者である教職員への指導・助言
2. 医療的ケア看護職員は、保健師、助産師、看護師、准看護師(以下「看護師等」という。)をもって充てること。
3. 医療的ケア看護職員は、例えば、施行規則第65条の3及び第65条の4で規定する、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと同様、学校に配置される者の名称であり、この度の改正により、看護師等と異なる新たな資格を設けるものではないこと。
4. 医療的ケア看護職員の職務内容として規定される「療養上の世話又は診療の補助」※とは、医療的ケア児に対して、施行規則第65条の2に規定される医療的ケアやそれに関連する業務を行うものであること。

※「療養上の世話又は診療の補助」とは、保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)において規定される看護師の業である。

以上のことから、医療的ケア看護職員という名称の支援スタッフは、看護師等の有資格者をもって充てられ、看護師の業として定められている「療養上の世話又は診療の補助」に従事することがわかります。具体的な職務内容は、小学校における医療的ケア児に対する業務と認定特定行為業務従事者である教職員への指導・助言に限定されていることも読み取れます。

今回の改正が、医療的ケアを必要とする子どもたちの小学校への就学保障、並びに、医療的ケアを実施する環境

整備の促進につながることは喜ばしいことです。しかしながら、我が国固有の職である養護教諭とのかかわりについて注視していく必要があると思います。今後も、養護実践のかけがえのない価値を見失うことなく、子どもの命を護り育てる教育職員である養護教諭としての教育活動を力強く推進していきましょう。

投稿論文の募集

編集委員 飯嶋美里(常磐大学高等学校)

養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する研究を募集しています。会員の皆様には、今年度も多くのご投稿とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ところで、本年10月7日(木)22時41分頃、千葉県北西部を震源とする最大震度5強の地震が発生しました。都内を中心に公共交通機関の遅れ、断水や停電の発生等により、現在も生活へ影響が生じている会員の方もおられることと思います。この地震により、都心部の地震災害への脆弱性が再確認されることになりました。テレビのニュース等においては、東日本大震災の光景を彷彿とさせるような帰宅困難者の姿が報じられました。多くの専門家たちが、帰宅困難者の課題をはじめとする災害の対応に関して、東日本大震災の経験が活かされていないことに警鐘を鳴らしています。過去の経験をどのように活かしていくか、どのように後世へ伝えていくかが問われていると改めて感じました。

現職の養護教諭として務めている今、子どもたちが学校にいるときに災害が起きたらどうするか、学校が被災したら養護教諭として何ができるのか、考えずにはいられません。「他校の先生方はどうされているのだろう」「過去に問題に直面した先生方はどのような対応をされていたのだろう」という疑問を抱いたときに、貴重な情報を得られるのが『研究論文』です。経験そのものや経験を通して得た考え等を今後活かすことが研究にできることであり、より多くの必要としている方々に向けて広めることができるのが、『研究論文』という形であると考えます。私のような経験の浅い養護教諭にとっては、自身が経験していない知見を得るために『研究論文』は貴重な存在であり、実践の中で困ったときの解決への道標の一つとなっています。災害の経験に限らず、日頃の学校での対応や研究機関において得られた知見をぜひ研究としてまとめ、多くの養護教諭のために残していただけたらと思います。

学会誌の発刊は年2回、9月末と3月末です。学会誌巻末にある投稿規程、投稿原稿執筆要領、論文投稿のしかた、投稿時のチェックリスト等を確認し、準備をするようお願い

致します。皆様の投稿をお待ちしております。

<編集委員会事務局>

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1

関西福祉科学大学健康福祉学部 齊藤ふくみ

理事会報告要旨 (一般社団法人後の2020年度理事会報告)

総務担当常任理事 大川尚子(京都女子大学)

2020年度第1回理事会

〔お詫びと訂正〕

本報告は、ハーモニー第85号(2021年6月20日発行)P.7~P.8において「2020年度第4回理事会」として報告しましたが、本学会は2020年11月6日に一般社団法人になりましたので、法人化後の2020年度第1回理事会として報告すべきでした。お詫びして下記のように訂正致します。

1. 日時 2020年11月29日(日)10:00~12:00
2. 方法 Zoomによるオンライン開催
3. 出席者 後藤、今富、大川、加藤、上村、河田、古賀、小林、鈴木、塚原、松永、圓岡、三木 監事: 岩崎、大野 幹事: 稲垣(記録) 欠席: 平井
4. 議事

【確認事項】

- 2020年度(法人化前)第1回~第3回の理事会議事録
- 法人化後の理事会における議事録署名人

【審議事項】

- 1) 2020年度総会の議事要旨について
- 2) 次期学術集会への申し送り事項について
- 3) 養護実践基準オンラインミーティングについて

【報告事項】

- 1) 第28回学術集会の総括
- 2) 2020年度委員会活動経過報告
- 3) 法人化したことの広報について
- 4) 代議員選挙の進捗状況について
- 5) 第29回学術集会の進捗状況
- 6) その他

2020年度第2回理事会

1. 日時 2021年4月18日(日)13:00~15:00
2. 方法 Zoomによるオンライン開催
3. 出席者 後藤、今富、大川、加藤、上村、河田、古賀、小林、鈴木、塚原、平井、松永、圓岡、三木 監事: 岩崎、大野 幹事: 稲垣(記録)

貴志学会長、竹内副学会長（審議事項の1）のみ）

4. 議 事

【審議事項】

- 1) 第29回学術集会の開催について
- 2) 学会事務局支援を外部委託する際の事業内容について
- 3) 2021年度代議員総会の開催について
- 4) 第28回学術集会の一般発表にかかる投稿奨励研究について
- 5) 2020年度活動中間報告について
- 6) 2020年度(2021年4月以降)活動計画について

【報告事項】

- 1) 第28回学術集会の収支決算について
- 2) 第30回学術集会の進捗状況について

2020年度第3回理事会

1. 日 時 2021年7月17日(土) 13:00~16:00
2. 方 法 Zoomによるオンライン開催
3. 出席者 後藤、今富、大川、加藤、上村、河田、古賀、小林、鈴木、塚原、平井、松永、圓岡、三木 監事:岩崎 欠席:大野(監事)、稲垣(幹事)

4. 議 事

【審議事項】

- 1) パブリックコメントへの提出意見について
- 2) 役員選挙に関する申し合わせ事項(案)について
- 3) 学会事務局業務等の委託業者について
- 4) 「委員会規程」の一部改正について
- 5) 学会設立30周年記念事業準備委員会の設置について
- 6) 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について(中間報告案)」に対する保健室等に関する意見について
- 7) 名誉会員の推戴について

【報告事項】

- 1) 第1回代議員総会の開催にむけて
- 2) 第29回学術集会(徳島)について
- 3) 第30回学術集会(札幌)の進捗状況
- 4) 一般社団法人日本養護教諭教育学会の入会案内
- 5) 法人化手続きにおける立替費用について
- 6) その他
 - ・ハーモニー第86号の発行日変更について
 - ・医療的ケア児及び家族に関する支援に関する法律の公布について
 - ・「養護に関する検討」研修会の開催について

事務局より

事務局長 圓岡和子(愛知教育大学附属高等学校)

○会費納入について

法人化に伴い、会計年度が10月1日から9月30日までと変更されましたので、これから2021年度の会費請求となります。

これまでと同様に年会費が2年分滞った場合には、入金が確認できるまで学会誌の発送を見合わせます。その際に退会届を提出されても、滞納分の会費は全額お支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

本会は皆様の会費によって学会運営が成り立っていますので、どうぞ速やかな会費納入にご協力をお願い致します。

○住所変更等の届について

勤務先等が変わった方は、学会HPのフォームもしくはE-mailにて事務局までお知らせください。学会の発行物が皆様のお手元にスムーズに届くよう、早めの変更届の提出をお願い致します。(学会誌巻末をコピーして、FAXでの送信もOKです。)

○事務局業務について

新年度(2021年10月)から事務局業務を(株)国際文献社に委託することになりました。下記が新しい連絡先です。これまで、事務局長として至らなかった点がありましたことお詫び致します。そして、会員の皆様のご理解とご協力により事務局を運営することができましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

★学会事務局が変わりました

<(一社)日本養護教諭教育学会の新・事務局>

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

TEL 03-6824-9398 FAX 03-5227-8631

E-mail jayte-post@bunken.co.jp

※年内は、旧事務局でも対応しますが、変更のご理解とご協力をお願い致します。

編 集 後 記

2度目のオンライン学会として開催される第29回学術集会は、11月27日(土)28日(日)に予定されています。今号のハーモニーでは、学会長でいらっしゃる貴志先生のもと皆様とともに養護実践のあり方を問うプログラムをご紹介します。奮ってご参加ください。

(平井美幸)